



## 「ともに学び、ともに育つ」大切さを学びました

お話を聞く会で、絵本『みーみと いっちょ 〜ともに学び、ともに育った日々〜』の主人公であるみーみさんとお母様をお招きし、全校児童を対象に講演会を開催しました。講演では、みーみさんが豊中市内の小学校・中学校で友だちとともに学び、ともに過ごしてきた経験についてお話いただきました。周囲の方々に支えられながら学校生活を送り、一緒に学ぶ中で互いに成長してきたこと、そして誰もが自分らしく生活できる社会の大切さについて、ご自身の体験を交えながら語っていただきました。

また、講演の後半には、ポッチャや車いす競技について説明を受け、体験もさせていただきました。子どもたちは実際に体験することで、普段は気付きにくい工夫や困難さを知るとともに、「みんなが楽しむには、どうしたらいいのか。」を考える貴重な機会となりました。

講演の中では「できないこと」に目を向けるのではなく、「できるようにするための工夫をみんなで考えることが大切である」というお話があり、子どもたちは真剣な表情で耳を傾けていました。



今回の学びを通して、子どもたちは一人ひとりの違いを認め合い、支え合いながらともに生きていくことの大切さを改めて感じる事ができました。みーみさんのお母様からは、「みんな違って当たり前。だからこそ、一緒に学ぶことに大きな価値がある。」

そして、「少しの工夫があれば、一緒に楽しむことができる。そんな『みーみルール』のような考え方が、社会のさまざまな場面で実践されている。」という大切なメッセージをいただきました。

子どもたちの心に深く残る、かけがえのない学びの時間となりました。熊野田小学校では、これからも誰もが安心して学び、ともに成長できる学校づくりを進めてまいります。



## 5年生 林間学舎 ～仲間と協力し、自然の中で学んだ2日間～



5年生は、さわやかな秋晴れのもと、丹波篠山市のユニットピアささやまで1泊2日の林間学舎を実施しました。豊かな自然に囲まれた環境の中でさまざまな体験活動に取り組み、仲間との絆を深める貴重な2日間となりました。

行きのバスではバスレクを楽しみ、ウォークラリーやアスレチック活動では、友だちと励まし合いながらさまざまな課題に挑戦しました。難しい場面でも仲間と力を合わせて乗り越えたり、自ら進んで難易度の高い活動に挑戦したりする姿が見られ、一人ひとりが多くの学びを得ることができました。

夜にはキャンプファイヤーを行い、各クラスの出し物で大いに盛り上がりしました。炎を囲みながら楽しい時間を共有することで、学級や学年の仲間とのつながりをさらに深めることができました。

また、飯盒炊爨ではグループごとに協力してカレーづくりに挑戦しました。火起こしや調理、後片付けまで役割を分担し、互いに声を掛け合いながら活動する姿が見られました。自分たちで作ったカレーの味は格別で、協力することの大切さや達成感を味わう機会となりました。

今回の林間学舎では、自然に親しむとともに、学年スローガンである「UP!! 新たな絆!」～一致団結! 思いやりを持って新しい輪を広げ、主体的に行動し、最高の思い出を創ろう!～の実現に向けて、一人ひとりが意識して行動することができました。

この2日間で得た経験や学びを今後の学校生活にも生かし、さらに成長してくれることを期待しています。





## 折り鶴に託す平和への願い



6年生は修学旅行で訪れる広島市の平和記念公園へ、熊野田小学校を代表して、全校児童の平和への願いを込めた千羽鶴を捧げます。

今年も修学旅行実行委員の児童を中心に、6年生が1～5年生の各教室を訪れ、折り鶴の折り方を教えました。6年生は「どうすれば分かりやすく伝わるだろう」と工夫を重ね、低学年の児童にも分かりやすいように、折る手順をゆっくり説明し

たり、隣に座って優しく声をかけながら一緒に折ったりするなど、一人ひとりに寄り添いながら丁寧に教える姿がとても印象的でした。下級生との交流を通して、最高学年としての責任感や思いやり、リーダーとしての成長を感じることができました。

世界では今なお争いや戦争により、多くの人々が苦しんでいます。全校児童一人ひとりの平和への願いが込められた折り鶴が、広島から世界へと届き、平和について考えるきっかけとなることを願っています。



## 語い部が伝える平和の重み ～戦争しないことが償い～

6年生は、語い部のお二人をお招きし、戦争の悲惨さや平和の大切さについて学ぶ講話を聴きました。講話では、戦争によって多くの尊い命が失われ、人々の日常生活や家族の幸せが一瞬にして奪われてしまうことについて、ご自身やご家族の体験をもとにお話いただきました。また、自然災害でも多くの人命が失われることがありますが、災害は人の力だけでは防ぐことが難しい。一方で、戦争は人と人との対立によって起こるものであり、私たちの努力や願いによって防ぐことができるものであるというお話が印象的でした。

児童は、お二人の言葉に真剣に耳を傾けながら、今の平和な暮らしが決して当たり前のものではなく、多くの人々の願いや努力によって守られていることを学びました。また、戦争を体験された方々が年々少なくなる中、その記憶や教訓を次の世代へ語り継いでいくことの大切さについても考える機会となりました。

今回の講話は、戦争の悲惨さを知るだけでなく、命の尊さや平和の価値について改めて見つめ直す貴重な学びの時間となりました。未来を担う子どもたちが、平和な社会を築いていくために何ができるのかを考え、一人ひとりが平和への願いを受け継いでいくことを期待しています。



## 『行ってきます集会』で平和への願いを一つに

修学旅行を目前に控えた6年生が、全校児童に向けて「行ってきます集会」を行いました。集会では、全校児童が一羽一羽心を込めて折った折り鶴をつなぎ合わせた千羽鶴の完成披露を行いました。色とりどりの折り鶴には、平和への願いや6年生への応援の気持ちが込められており、全校みんなの思いが形となった素晴らしい作品となりました。

また、修学旅行で訪れる広島での平和学習に向けて、平和への願いを込めながら、全校児童で「折り鶴」を合唱しました。体育館いっぱいに響く歌声から、平和を願う子どもたちの気持ちが伝わり、心をつなぐ温かな時間となりました。

6年生は、この全校の思いを胸に広島へ向かい、平和について学びを深めてきます。



## ♪ 金管五重奏の響きに包まれて ♪ ～3年生サウンドスクール～

今年も恒例のサウンドスクールを開催し、大阪音楽大学の学生のみなさんによる金管五重奏の演奏を鑑賞しました。演奏会は、初めに「トランペット吹きの休日」の華やかな演奏で幕を開け、子どもたちは一気に音楽の世界へ引き込まれました。演奏の合間には、トランペット、ホルン、トロンボーン、チューバなど、それぞれの楽器の音色や役割について分かりやすく紹介していただきました。また、楽器の特徴を当てるクイズもあり、子どもたちは楽しみながら金管楽器への理解を深めていました。続いて演奏された「銀河鉄道999」では、力強く迫力のある音色が多目的室いっぱいに響き渡りました。

さらに、「名探偵コナン メイン・テーマ」やディズニー映画でおなじみの「輝く未来」、親しみのある「となりのトトロ・メドレー」が演奏されると、子どもたちは自然とリズムを取りながら聴き入っていました。アンコールでは、「おどるポンポコリン」が披露され、会場は大いに盛り上がりしました。演奏後の質問コーナーでは、「いつから楽器を始めたのですか」「練習はどのくらいするのですか」など、子どもたちからたくさんの質問が寄せられ、学生のみなさんに丁寧に答えていただきました。音楽家を目指している学生のみなさんの生演奏に触れることで、子どもたちは音楽の楽しさや楽器の魅力を存分に味わうことができました。大阪音楽大学のみなさん、素晴らしい演奏をありがとうございました。



## 「自ら学ぶ力」を育む マイプラン学習

本校では、昨年度より「自立した学び手の育成」をめざし、「マイプラン学習」の研究・実践に取り組んでいます。マイプラン学習とは、子どもたち一人ひとりが学びの主体となり、自ら学習計画を立て、自分のペースや得意な学び方を生かしながら学習を進める学習方法です。

今年度も校内研究の中心としてこの学習に取り組み、子どもたちが「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」を自ら考え、主体的に学ぶ力の育成をめざしています。また、自分で学ぶ力を育むだけでなく、友達と考えを交流し、多様な考え方に触れながら学ぶ協働的な学びも大切にしています。個の学びと協働の学びの両方を充実させることで、これからの社会を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育てていきたいと考えています。

なお、本校ホームページにもマイプラン学習の目的や進め方について掲載しております。保護者の皆様におかれましても、ぜひご覧いただき、本校の教育活動へのご理解を深めていただければ幸いです。

今後も、子どもたち一人ひとりが自分らしく学び、自らの可能性を広げていけるよう、教職員一同研究と実践を重ねてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 非常時に備えて

～体育館の非常設備について～

今年も全国各地で線状降水帯による豪雨や浸水被害、台風による大きな災害が発生しており、地球温暖化の影響を身近に感じる機会が増えています。災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。

豊中市では、学校がいざという時に地域の避難所として十分に機能できるよう、防災設備や環境整備を進めています。昨年9月に設置された体育館の空調設備もその一つです。学校行事や教育活動に活用されるだけでなく、災害時には避難所機能を高める重要な役割を担います。

通常は都市ガスを使用していますが、災害時にはプロパンガスへ切り替えて稼働できるほか、炊き出しにも活用できる設備が整えられています。また、停電時に利用できる非常用コンセントも設置されており、避難所としての機能向上が図られています。災害への備えは、行政や学校による環境整備だけでなく、一人ひとりの日頃からの備えも大切です。私たちも「備えあれば憂いなし」の心構えをもち、学校・家庭・地域がそれぞれに非常時への備えを進めるとともに、いざという時には互いに支え合いながら連携し、子どもたちの安全・安心を守っていききたいと思います。

☎ このコンセントは停電時にラジオやパソコンなどの小電力の機器を使用することを前提とされており、**非常時の利用が目的**の為、日常はこのコンセントを使用しないようお願いいたします。





## 地域の皆さんへ感謝を込めて ～敬老の集い～

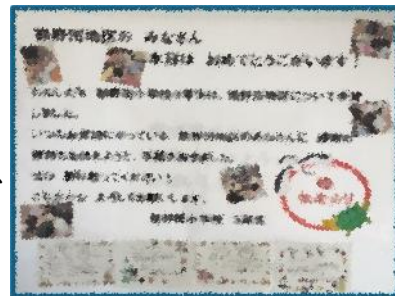


9月26日(土)、熊野田地区で「敬老の集い」が開催されました。地域の幼稚園・保育園、第三中学校、本校からは3年生の有志児童が参加し、合唱や楽器演奏を披露しました。

また、会場入口では、日頃から登下校の見守りや地域行事などでお世話になっている地域の皆さんへの感謝の気持ちを込めて、3年生一人ひとりが心を込めて書いたメッセージカードを手渡しました。受け取られた皆さんの笑顔があふれ、会場は温かく和やかな雰囲気になりました。子どもたちの健気な姿に、大きな拍手が送られる場面も見られました。熊野田地区では、敬老の対象となる75歳以上の方が1,638名おられ、そのうち米寿(88歳)の方が52名、白寿(99歳)の方が4名いらっしゃるそうです。長年にわたり地域を支えてこられた皆さまに、心より敬意を表します。

このような地域行事への参加は、子どもたちが地域の方々とのつながりや支えを実感し、感謝の気持ちを育む貴重な機会となっています。三世代、四世代が集い交流する中で、地域の温かさを感じることができました。

これからも子どもたちが地域の一員として主体的に地域活動に関わり、人と人とのつながりを大切にしながら成長していくことを願っています。



## くまっ子たちの学びに地域のお力を！！

～学校地域連携ステーション～

今年度も、本校元校長の木場敬子先生のご支援をいただき、「地域とともにある学校」づくりを進める取組として、『学校地域連携ステーション』を実施しています。学校地域連携ステーションでは、地域の皆様のご支援とご協力のもと、子どもたちの学習活動や体験活動を支援いただいています。地域の方々との交流は、子どもたちにとって多くの学びや気づきをもたらす、豊かな経験につながっています。

現在も多くの皆様にボランティアとしてご登録いただき、ご協力いただいておりますが、子どもたちの学びをさらに充実させるため、新たなボランティアを募集しています。先日の「敬老の集い」でも募集案内を配布させていただきました。案内をご覧になっていない方も含め、ご協力いただける方はもちろん、「少し興味がある」「どのような活動か話を聞いてみたい」という方も、ぜひお気軽に学校までご連絡ください。

地域の皆様のご温かい支えによって、子どもたちは多くの学びと貴重な経験を得ています。今後も「地域とともにある学校」をめざし、地域と学校の連携をさらに深めてまいります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 【ボランティアの活動例】



#### ★登下校の見守り活動

子どもたちの登下校を見守っていただく活動です。ご自宅前での見守りや、散歩の時間を登下校の時間帯に合わせていただいただけでも大変ありがたいです。

#### ★昔遊び体験・昔の暮らしのお話

けん玉、お手玉、こま回しなどの伝承遊びを子どもたちに教えていただいたり、昔の暮らしや生活、道具についてお話しいただいたりします。

#### ★校区探検の引率補助・案内

生活科や社会科の学習で行う校区探検や施設見学の際に安全見守りや地域の案内をしていただきます。

#### ★授業補助

家庭科のミシン操作の補助や学習活動のお手伝いなど、子どもたちの学びを支援していただきます。



裁縫の補助に入  
いただきました。